

第1回 第6期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- 【日 時】 平成 29 年 7 月 21 日（金） 午後 7 時 00 分～ 9 時 15 分
- 【場 所】 武蔵野市役所 811 会議室
- 【出席委員】 山谷修作（委員長） 田口 誠（副委員長） 加藤慎次郎 花俣延博
（敬称略） 沢村哲志 茂木 勉 新垣俊彦 木村 文 金井憲一郎 松井理依子
西上原節子 能勢方子 吉安晶子 木村 浩
- 【事務局】 ごみ総合対策課長 クリーンセンター所長 ほか
- 【欠 席】 なし
- 【傍 聴】 なし
- 【配布資料】
- ・ 第 6 期 武蔵野市廃棄物に関する市民会議委員一覧（資料 1）
 - ・ 武蔵野市廃棄物に関する市民会議運営に関する基準（資料 2）
 - ・ 武蔵野市廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまちの美化に関する条例及び条例施行規則（資料 3）
 - ・ 武蔵野市のごみ問題（資料 4）
 - ・ 平成 28 年度一般廃棄物処理基本計画事業取組（資料 5）
 - ・ 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書の概要について（資料 6）
 - ・ 武蔵野市食品ロス対策事業の実施について（資料 7）
 - ・ 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」事業の実施について（資料 8）
 - ・ メダルプロジェクト一般配布チラシ（資料 9）
- <参考資料>
- ・ 武蔵野市一般廃棄物処理基本計画 平成 27 年度～36 年度
 - ・ 平成 28 年度版 事業概要
 - ・ 私たちが出したごみは、どこへ行くの？
 - ・ 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書

1 開会

2 委嘱状交付

3 環境部長あいさつ

4 委員自己紹介

5 委員長及び副委員長選任

武蔵野市廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまちの美化に関する条例施行規則第4条3項（資料3）に基づき、委員の互選により山谷委員が委員長に選出、田口委員が副委員長に選出された。

6 議題

（1） 会議運営基準

【事務局】 資料2について説明。会議および会議資料は原則公開とし、傍聴をしていただく。議事録については要旨とし、発言者の氏名は非公開とする。

【委員全員】 了承。

【委員長】 本日は、傍聴人はいますか。

【事務局】 本日はいない。

（2） 市民会議の役割および武蔵野市ごみ処理基本計画

【事務局】 資料3について説明。今回、公募委員の募集において、任期を平成30年度末までと市報に掲載したが、資料3のとおり委員の任期は委嘱した日から2年と規則で定められているので、任期は平成29年7月21日から平成31年7月20日まで、とお詫びして訂正したい。

【委員全員】 了承。

（3） 武蔵野市のごみ問題

【事務局】 資料4について説明。

【委員長】 質問、ご意見はありますか。

【委員】 8ページにある市民一人あたりのごみ収集量で、府中市のごみがとても少ないが、なぜか。

【事務局】 詳細は不明である。

【委員】 私は、この委員になるにあたって、市民のライフスタイルや市民間の循環型社会が大事だと強調して応募した。市民公園で年に1度フリーマーケットをやっているようだが、もっと頻繁にリユース・リサイクルのイベントをやったらいいのではないか。

【委員長】 ごみ問題や啓発に関するイベントは市が中心となってやっているが、市民団体連携、協働してやっていることと思う。委員の中には、市民団体としてそういった活動をすでに行っている委員もいると思うがいかがか。

【委員】 お茶碗のリユース事業など、行政との協働作業はずいぶんやってきた。武蔵野市はごみの分別を求めるリサイクル施策から入っていったが、今はリサイクルがすべてではなく、まずはリサイクルしなきゃいけないものを家庭に持ち込まない、要するにリデュースから始めるライフスタイルが今一番求められているし、これからの施策として重

要だと思っている。

【委員】ごみの収集に関する在り方等検討委員会（以降、「在り検」と記載）でも、市民のライフスタイルに関して話してきた。一言にライフスタイルといっても、自分のライフスタイルをもっていても集団でのライフスタイルを考えることは難しく、それを市や事業者ですべて委ねることはできない。そこで前回の在り検では市、事業者、市民が協働でごみ問題を考えていかないといけない、ということになった。

【委員】市内に16コミセンがあり、その中でフリーマーケットやお茶碗リサイクル（現在はリユース）、エコクッキングをやっている。これまでごみに関して様々なイベントを行ってきたが、先日新クリーンセンターの見学について、参加したひとの感覚が変わった。百聞は一見にしかず、でいかにごみを減らさなきゃいけないかがよく分かった。

【委員】運営協議会もフリーマーケットやワークショップ等沢山イベントをやっているが、特におもちゃのかえっこは人気である。新しいクリーンセンターになっても、事業者主催のエコ・マルシェ等、クリーンセンター周辺では活発にいろいろとやっている。また、今までのクリーンセンターの敷地を利用して、新しい啓発施設を造ろうという試みがあり、そこではごみだけでなく、全体の環境について考える施設が考えられている。資料を読んで、こんなに府中市のごみ量が少ないなんて驚きである。府中市は24時間ごみが出せるボックスがあり、いつもごみがあるという印象である。

【委員長】武蔵野市は他自治体よりも市民・行政・事業者の連携がとられたイベントが多いと感じる。

（４）平成28年度の取り組みの実施状況報告と平成29年度の取り組み予定

【事務局】資料5について説明。武蔵野市一般廃棄物処理基本計画33ページにある計画の体系について、ごみ分野に関する具体的な事業の平成28年度進捗状況・29年度予定を報告。

【委員長】質問、ご意見はありますか。

【委員】基本施策3でごみの行方を知るツアーで平成29年度は中止とある。日の出町まで行くのは大変だけど、4月に稼働した新クリーンセンターの見学は、ロケーションの良さを生かして何かのイベントと連動して市民に見える化を図ると良い。

【事務局】新クリーンセンターは平日10時から17時まで自由にご見学いただける施設である。ごみ問題を身近に考えるのに良い施設が良い立地にあることは、市としても意味あることだと思っている。

【委員】クリーンセンターは中間処理施設であり、最終処分場がある日の出町まで焼却灰を持って行ってセメント化をしている。そういった流れを見学の中で理解していただくのは、見える化という意味で重要だと考えている。それと在り検でも最大の争点となっている資源物に関して、クリーンセンターに一切運ばれてこないことも話題にしていきたい。ごみの流れがどうなっているのか、ということをご理解いただいたうえ、なぜ減

量しなきゃいけないのか、なぜ分別しなきゃいけないのかということ、私共も新クリーンセンターの見学をアピールしながらできる限りの方にご案内していく所存である。

【委員】基本施策4（5）で生ごみに関して記載してあるが、生ごみの堆肥化の問題はずいぶん前からあったと思う。私の住んでいるパークタウンでも市の実験に参加したこともある。しかし原発の事故以降、市の取り組みを感じなくなった。いま現在どうなっているのか。

【委員】武蔵野市は最終処分場がないので、自分たちが出したごみを他の自治体にお任せして税金で処理していることを生活の中で感じていないと思う。自分で出したごみは自分で処理をするという基本的なところに立ち返る必要がある。例えば、生ごみから作る堆肥の量を考えれば費用対効果は少ないかもしれないが、堆肥でおいしい野菜を作って自分の口に入れて、という地域還元型の取り組みを考えていくとライフスタイルもだいぶ変わるのではないか。行政と市民との協働で、各地域に堆肥を作る場所を作って、そこで市民が一緒になって処理していくことである程度の循環型・見える化を実現できるかと思う。

【事務局】生ごみの堆肥化について、市民団体との協働で生ごみの堆肥化に関する事業ができないかという検討を以前は行っていたが、全市的な取り組みは難しいと考えている。庭をお持ちの方がコンポストを利用することをすすめることはできるが、集合住宅が多い武蔵野市で、全市民に対してすすめることは難しい。ただ、事業者から出た生ごみの資源化に関しては、他自治体に比べてもかなり力を入れているので、そのような総合的な観点から生ごみの減量に関してみていただきたい。

（5）武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告

【事務局】資料6について説明。

【委員長】在り方等検討委員会の委員長である、本会議の副委員長から補足はあるか。

【副委員長】8回にわたって検討してきたが、具体的な方向に関しては今年も継続して検討していきたい。資源物に関して、行政収集の頻度を減らすだけでなく、店頭回収・自主回収・集団回収の制度を総合的に考えることが一番の課題だと思っている。

（6）全国おいしい食べきり運動ネットワークの加入

【事務局】資料7について説明。食品ロス対策事業について、今年度から重点的に取り組みたい。

【委員長】近くでは立川市、ほかにも江戸川区・荒川区がすでに行っており、港区もこれからはじめると聞いている。何か良いアイデアがあれば、事務局まで知らせていただきたい。

【委員全員】了承。

(7) 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

【事務局】資料8、9について説明。

【委員全員】了承。

(8) 市民会議の今後の日程

【事務局】次回に関しては、在り検で一定の方向性が出たらご審議いただきたい。また、来年度以降は一般廃棄物処理基本計画の改訂について審議をお願いしたい。

【委員全員】了承。

(9) その他

【委員長】ほかに、委員から意見はありますか。

【委員全員】特になし。

7 閉会

【委員長】それでは、本日の議事はすべて終了した。以上をもって本日の会議を閉会とする。

以上